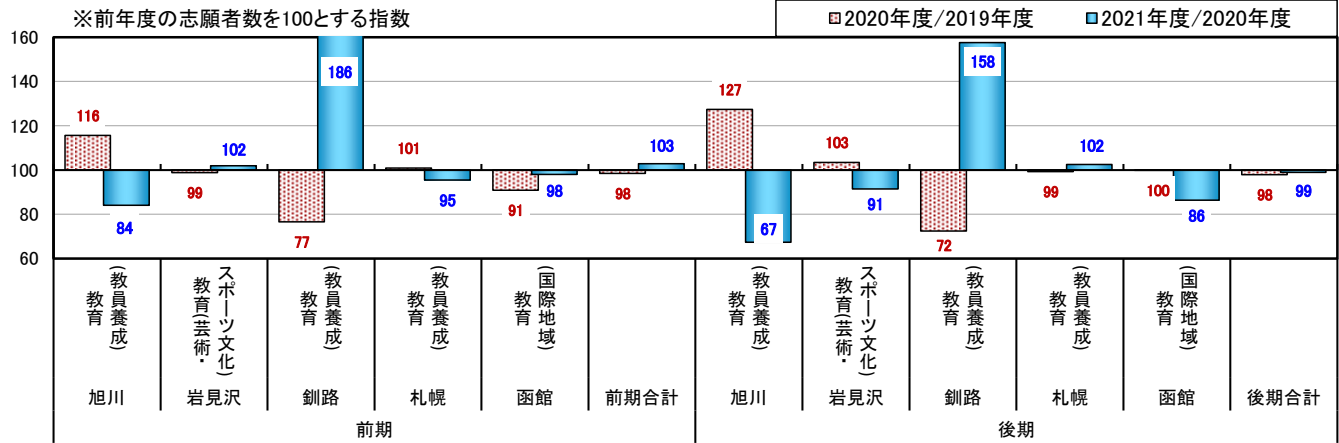


2021 年度入試状況分析【国公立大】

北海道教育大：前年度の反動で、前期はやや増加、後期は微減

前期：+43人 後期：-21人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は43人(103)のやや増加で4年ぶりの増加。修学校別では、前年度の反動で、釧路校(186)は激増、旭川校(84)は大幅減少。後期は21人(99)の微減だが2年連続減少。修学校別では、前期と同様に釧路校(158)は大幅増加、旭川校(67)は大幅減少。

<前期日程>

- 旭川校・教育(教員養成)(84)は、2年連続増加の反動で大幅減少。専攻・分野別では、10専攻・分野中3専攻・分野が増加。特に、(教員養成/数学)(135)、(教員養成/社会科)(133)は、いずれも30%以上の大幅増加。一方で、(教員養成/英語)(34)は前年度激増の反動で激減、(教員養成/芸術・保健体育-音楽)(50)は半減、4専攻・分野が大幅減少、1専攻・分野が減少。
- 岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化)(102)は、微増だが3年ぶりに増加。専攻・コース別では、11専攻・コース中4専攻・コースが増加。特に、(芸術・スポーツ文化/スポーツ文化-アウトドア・ライフ)(184)は80%以上の激増、(芸術・スポーツ文化/音楽文化-音楽教育・音楽文化)(150)は大幅増加。一方で、(芸術・スポーツ文化/音楽文化-声楽)(57)、(芸術・スポーツ文化/音楽文化-鍵盤楽器)(64)、(芸術・スポーツ文化/美術文化-メディア・タイムアート)(73)は、いずれも大幅減少。
- 釧路校・教育(教員養成)(186)は、前年度大幅減少の反動で90%近い激増。志願倍率も2.7倍→5.1倍にアップ。
- 札幌校・教育(教員養成)(95)は、やや減少。専攻・分野別では、9専攻・分野中2専攻・分野が増加。(教員養成/養護)(209)は2年連続大幅減少の反動で倍以上。(教員養成/芸術体育-音楽)(121)は大幅増加で4年ぶり増加。一方で、減少した5専攻・分野では、(教員養成/特別支援)(61)、(教員養成/芸術体育-保健体育)(65)は、いずれも大幅減少。なお、(教員養成/理数)(100)と(教員養成/芸術体育-図画工作・美術)(100)は共に前年度と志願者数が同数。
- 函館校・教育(国際地域)(98)は、微減だが4年連続減少。専攻・グループ別では、(国際地域/地域教育)(160)は激増、(国際地域/地域協働-地域環境)(137)は大幅増加。一方で、(国際地域/地域協働-地域政策)(58)、(国際地域/地域協働-国際協働)(77)は大幅減少。

<後期日程>

- 旭川校・教育(教員養成)(67)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。専攻別では、後期募集を行う7専攻中2専攻が増加。特に、(教員養成/社会科)(132)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(教員養成/理科)(32)は前年度倍以上だった反動で激減。(教員養成/国語)(51)、(教員養成/英語)(53)は、いずれも半減に近い減少。
- 岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化)(91)は、減少。2016年度以降、前年度の反動による増減が継続。専攻・コース別では、8専攻・コース中4専攻・コースが増加。特に、(芸術・スポーツ文化/スポーツ文化-アウトドア・ライフ)(161)は、激増。一方で、2専攻・コースが減少。特に(芸術・スポーツ文化/スポーツ文化-スポーツ・コーチング科学)(60)は、40%減少で大幅減少。なお、(芸術・スポーツ文化/美術文化-美術・デザイン)(100)と(芸術・スポーツ文化/美術文化-美術文化)(100)は共に前年度と志願者数が同数。
- 釧路校・教育(教員養成)(158)は、前年度大幅減少の反動で60%近い大幅増加。
- 札幌校・教育(教員養成)(102)は、3年連続前年度並で、志願者数は4年連続280人台で変化は少ない。専攻別では、後期募集を行う6専攻で増減が3専攻ずつに分かれた。(教員養成/養護)(150)、(教員養成/生活創造)(125)はいずれも大幅増加。一方で、(教員養成/特別支援)(76)、(教員養成/学校)(83)、(教員養成/理数)(84)はいずれも大幅減少。
- 函館校・教育(国際地域)(86)は、減少で4年連続減少。専攻・グループ別では、4専攻・グループ中で増減が2専攻・グループずつに分かれた。特に、(国際地域/地域教育)(114)の増加、(国際地域/地域協働-地域政策)(75)、(国際地域/地域協働-国際協働)(83)の大幅減少が目立った。